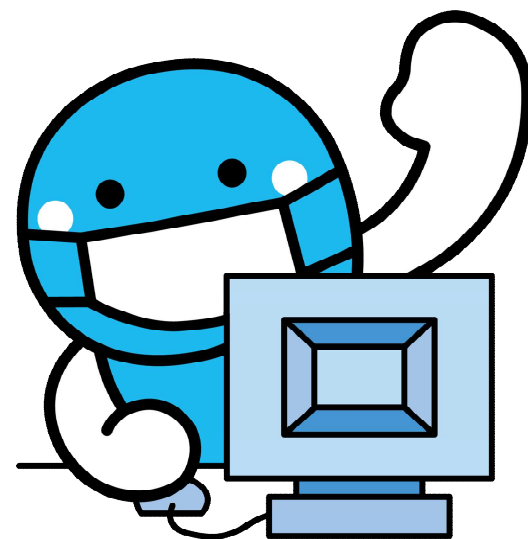


# 令和3年度 予算編成方針

令和2年10月16日



# I 令和3年度予算編成のポイント

## 1 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に引き続き取り組みつつ、5つの基本政策と3つの横断的政策を推進。特にデジタル化を強化。

- 感染防止対策を着実に実施しつつ、社会経済活動の回復との両立を図る。
- あらゆる分野のデジタル化の推進をはじめ、地方に新しい人の流れを呼び込む取り組みなど、社会の構造変化を踏まえた施策を強化。
- こうした取り組みを推進するため、新たに「新型コロナ対策・社会構造変化対応枠」を創設し、重点的な配分を実施（裁量的経費に△5%のシーリング）。

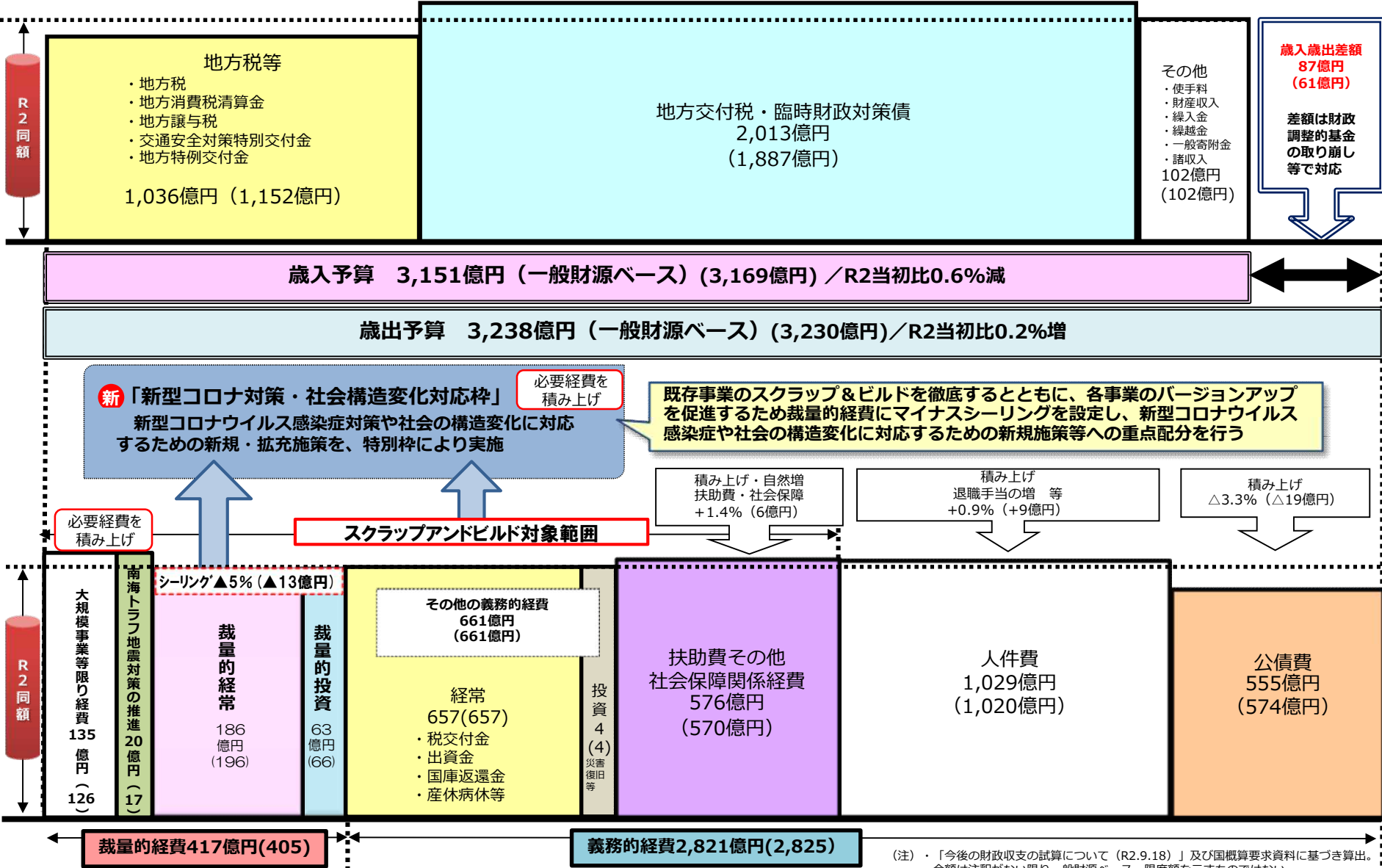
## 2 南海トラフ地震対策・豪雨災害対策・インフラ整備の推進

- 「第4期南海トラフ地震対策行動計画」の目標を達成するために必要な新規、拡充等に係る経費を積み上げ。
- 国の3か年緊急対策終了後の動向には別途対応し、防災・減災対策を加速。
- 県民の安全・安心の確保と地域経済の活性化を目指すため、インフラの整備と有効活用を推進。

## 3 県勢浮揚と県財政の持続可能性の両立

- 新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、国の動向に留意し、本県への影響を見極めた上で確実に予算に反映。
- 県勢浮揚に必要な施策を着実に実行する一方、国の有利な財源の活用やスクラップアンドビルドの徹底により今後の財政運営の持続可能性を確保。

# II 予算要求フレームの考え方



(注) ・「今後の財政収支の試算について (R2.9.18)」及び国概算要求資料に基づき算出。  
 ・金額は注釈がない限り一般財源ベース。限度額を示すものではない。  
 ・歳出予算は、退職手当債・行政改革推進債40億円の充当を見込む。  
 ・( )は令和2年度当初予算。そのうち歳入予算計は、一般財源扱いした交付金等の一部 (28億円) を含む。

# Ⅲ 予算編成の主なスケジュール（予定）

令和2年 <b>10月</b>	○ <b>16日 予算編成方針通知</b>
<b>11月</b>	○ 13日 予算見積書提出期限
<b>12月</b>	○ <b>上旬 当初予算見積概要の公表</b>
令和3年 <b>1月</b>	○ 上旬 財政課長内示 ○ 中旬 総務部長協議、総務部長内示 ○ 下旬 知事査定
<b>2月</b>	○ 中旬 当初予算案記者発表